

富山市定例市長記者会見（令和4年4月15日）

■冒頭

市長

皆さんこんにちは。

今年度から（定例市長記者会見を）月2回（開催すること）を基本とするということで、今日は月の中旬であります。報道関係の皆さんには、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

■常西合口用水世界かんがい施設遺産登録記念PR動画の完成について

市長

令和2年12月8日に、常西合口用水が「世界かんがい施設遺産」に登録されたことを契機に、当該施設の理解醸成などを図るため作成したPR動画が完成しました。

このPR動画は、この施設が偉大な遺産であることを一般の方や児童の皆さんに理解していただき、次世代へと継承することを目的としています。

タイトルは「富山市民の生活を守って130年 常西合口用水の物語」です。

このPR動画は、常西合口用水が作られた時代背景や歴史などを写真やCGを駆使し、高画質の映像、これは4K映像ですが、主に児童向けのナレーションや解説を交えて、分かりやすく作成してあります。

作成にあたっては、常西用水土地改良区や教育委員会、富山市からなる「世界かんがい施設遺産認定記念PR動画作成実行委員会」を設立し、実施いたしました。

動画の具体的な内容は、「常西合口用水の役割、常西合口用水が必要だった理由、常願寺川を暴れ川にした大地震、画期的な水害対策、今でも続く土砂との闘い、人々の暮らしを支える常西合口用水、常西合口用水の歴史的価値、未来への可能性」となっております。

今後はこのPR動画を、常西用水土地改良区に訪れる施設見学者への解説資料や、市内の小学校に配布して、学校の教材として、授業に活用してもらうこととしております。

また、一般市民や各土地改良区会員にPR動画を見ていただくことで、市民にとって身近な存在である農業用水の大切さを感じてもらうことや商工会議所などのホームページに掲載していただき、産業観光で活用していただくことで、現地には写真映えするような魅力的な場所が多くあることをたくさんの方々に知っていただき、現地に足を運んでいただくきっかけになればと感じています。

それでは、ダイジェスト版ではありますが、PR動画の一部をご覧くださいできます。

※短縮版映像を放映（約5分）

時間の関係で、全編はお見せできませんが、富山市のホームページからも、間もなく視聴できるようになりますので、偉大な遺産の歴史物語やダイナミックな自然の映像など、非常に素晴らしい映像になっておりますので、ぜひお楽しみいただきたいと思っております。

安政の大地震や土石流などもあったわけですが、治水、水との戦いの歴史を利水に変えていったということは、本当に大きな意味のある一大灌漑事業であります。この豊富な水資源を富山市の将来に、小水力発電などでも利用され始めていますが、このような未来を見据えた取組にも今後さら

に利用されていくことを期待しています。

■令和5年4月採用予定の富山市職員の募集について

市長

令和5年4月採用予定の富山市職員の募集について、発表させていただきます。

募集職種や採用予定人数につきましては、資料のとおりであり、市ホームページにも掲載しております。

また、受験申込期間や試験日程などを記載した受験案内につきましては、行政や土木などは5月20日、一般事務などは8月5日に公表する予定であります。

このほか、看護師や臨床検査技師などの医療系職種などにつきましては、今後詳細が決まり次第、改めて市ホームページ等で公表する予定としております。

なお、今年度、保育の担い手として、優秀な人材を早期に確保するといった観点から、例年9月に実施していた保育士の採用試験を3か月程度前倒しして、上級職と同様、6月に実施することといたしました。

以上が、今年度を実施する職員採用試験の概要であります。近年、公務員試験の申込者数が減少傾向にあると言われており、本市におきましても、特に、土木職の申込者数が募集定員を下回る状況が見受けられるようになってきております。

こうしたことから、本市では、より多くの方に受験していただけるよう、土木職などの技術系職種に最終合格した方が、大学院への進学を希望する場合、最長2年間、採用の時期を遅らせる対応をとることとしているほか、令和2年度実施の採用試験からは、土木職などの年齢要件を36歳未満か

ら 40 歳未満へと引き上げたところでもあります。

このほか、令和 3 年度実施の採用試験からは、受験者の利便性の向上を図るため、受験申込の手続きをインターネット上で申し込む方法に変更したところであり、引き続き、有為な人材の確保に向けた様々な取組を行ってまいりたいと考えております。

言うまでもありませんが、市町村は、国や県とは違って、住民に最も身近な基礎自治体であります。その業務は、住民に相対してフェイス・トゥ・フェイスの市民サービスを基本として、市民の安全・安心な暮らしに直結したまちづくりに貢献できる、非常にやりがいのある職業であると思えます。

公務員を志望される方は一定程度いらっしゃると思いますが、中でも市町村行政に興味や関心を持っておられる方には、ぜひ、富山市の職員として、コンパクトなまちづくりの深化やスマートシティの推進など、「幸せ日本一とやま」の実現に向け、私たちと一緒に働いていただきたいと思います。意欲と情熱にあふれる多くの方に本市の採用試験を受験していただくことを期待しております。

■報告事項 1（新型コロナウイルス感染症関係）

市長

次に、新型コロナウイルス感染症に関して申し上げます。

4 月から、県独自の警戒レベルもステージ 1 となりました。市内の感染者数も、4 月 2 日以降は 1 日 100 名を下回る日が続くなど、第 6 波の減少傾向が見られますが、全国の新規感染者数は、再び増加傾向にあります。感染拡大への警戒を緩めてはいけないものと考えております。

4 月に入り、人の移動や交流が活発な時期を迎えております。さらにゴールデンウィークも控えております。市民の皆様には、改めて感染対策の

徹底に万全を期すよう、お願いを申し上げます。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種についてのご報告です。

本市でのワクチン接種状況についてです。お手元の資料を参考にしてください。3回目となる追加接種を受けられた方は、4月14日現在で、192,546人、全人口に対する接種率は46.5%となりました。

これから、若い世代への3回目接種が本格化してまいります。集団接種、個別接種ともに、十分な予約枠を用意しております。市予約相談センターで扱う分では、最短で翌日分の予約が可能な場合もあります。待たずに接種ができる大変スムーズな状況となってきておりますので、ぜひ（3回目接種の予約を）よろしくお願ひします。

一方で、国や県では、大規模接種会場において、企業や事業所、学校といった団体単位でまとめて予約を受け付けることで、ワクチン接種を促進する取組を進められていることから、本市においても、市の集団接種会場の予約の空きを活用し、団体単位での接種受付を開始いたします。

対象となるのは、市内にある企業や事業所、学校のほか、業界団体や任意団体などです。2回目接種から6か月以上が経過し、接種券が届いている方の3回目接種について、数人から100人程度をまとめて受け付けすることになります。

なお、市集団接種会場の空き状況は常に変動しておりますので、まずは、市予約相談センターに、お気軽にお問い合わせいただきたいと思いますと考えております。

また、これまで市の集団接種会場での3回目接種には、モデルナ社製ワクチンのみを使用してまいりました。しかし、4月から始まった12歳から17歳の方の3回目接種に使用できるワクチンがファイザー社製のものに限られることから、5月以降は、市保健所での土日、夜間の接種に使用するワクチンについて、すべてファイザー社製に切り替えることといたしま

した。

いずれにいたしましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためには、現役世代や若い世代の3回目接種を着実に進めることが非常に大事でありますので、ぜひ皆さんには接種していただくよう検討していただきたいと思っております。

気候も温かくなり活動的な季節を迎えるところでもありますので、接種券が届いている方から、ぜひ、接種していただきたいと思えます。

以上であります。

■ 質疑応答

記者

市長に就任されて、今月24日で1年となりますが、就任から1年を振り返っての所感をお聞かせください。

市長

やはり新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に奔走した1年だったということが、1年を振り返って一番大きなことであると思えます。

(昨年の)8月には、デルタ株の感染が急拡大し、富山市にまん延防止等重点措置が適用されるという事態もあった中で、市職員はもちろん一生懸命(業務を)やってくれました。それと同時に、事業所の皆さんや報道関係者の皆さんのお力添えもありましたし、市民の皆さん一人一人が、感染防止対策をしっかりとっていただいで(いることで)、今日に至っていることに、まず感謝を申し上げたいと(思います)。

そのような皆さんの頑張りが、非常に心に響いた1年でありました。みんなで一生懸命一つの目標に向かい、それを達成していくという、そういう力を十分、見せていただきましたし、富山市として力を結集できた1年

ではなかったかと思っています。

それに加え、新しい事業があります。コンパクトシティ政策にプラス（して）スマートシティを入れ込んでいく、融合させていくことで、さらにコンパクトシティ政策を深化させていくための事業を、新年度の予算の中に、ある程度入れ込むことができたと考えております。

そういう面でいうと、初めて自分で取り組んだ本格的な当初予算でしたので、非常に印象深く思っております。せっかく議会に議決をいただいた本年度予算ですので、しっかりと市民の皆さんの方向を向いて、一つ一つ取り組んでいきたいと考えております。

記者

富山駅南口に「JR 富山駅ビル」がオープンしてから、約1カ月が経過します。

富山駅南西街区は、市の「賑わい拠点ゾーン」となっていますが、富山駅の北側や中心市街地等、周辺エリアにおける人流の変化など、新たな傾向についての所感をお聞かせください。

市長

2年前に富山駅の高架化により南北自由通路、そして（市内）電車が南北接続したことにより、南北の障壁がなくなりました。そして、今ほどおっしゃられたように、JR 富山駅ビル、MAROOT^{マルルート}の開業によって、これは3月18日（に開業し）、一部に渋滞も引き起こしましたが、人流も大きく変わってきたのではないかと考えています。

3月18日から21日まで、市内15ヶ所でイベントをやらせていただきました。富山駅周辺南北一体的なまちづくりプラットフォーム—富山駅周辺の事業者、もちろん市も参画させていただいていますが—この富山の駅周辺のまちづくりを考える会が中心になり、15の事業を鉄軌道沿線で行いました。「つながる weekend」と銘打って開催しましたが、おかげさまで、皆さんの協力も得まして、成功裏に終わったと、非常に賑わったと思っています。

ます。

特に、J R 富山駅ビルのオープンを境に、先ほど渋滞の話もしましたが、人流ですね。例えば、南西街区から富山駅の駅北広場、あるいは中心市街地への人の流れ、このようなものは、目に見えて大きくなってきているのではないかと感じています。

実際に計測したところ、J R 富山駅ビルオープン後の3月下旬から4月上旬にかけて、南北自由通路の歩行者数はオープン前と比較して、平日で3割増、休日で4割増となっているということです。結果からも明らかに人流は増えていると感じております。

また、富山駅周辺では、今後、中規模ホールやブルバールの整備が予定されております。今（整備が）進行中ですので、このこと（中規模ホールやブルバールの完成）によってさらに回遊性や滞留性が高まって人の流れやまちの賑わいが創出されていくのではないかと感じております。

加えて、前回ご指摘いただいた（西口交通広場の）渋滞ですが、これにつきましては、MAROOT^{マルート}のオープン前後から確かに渋滞が（あり）、特にオープン後は慢性的な渋滞が発生しました。

現在、富山県警やMAROOT^{マルート}さん、J Rさん等、関係の方々と様々な協議を行い、その解消に向けて、例えば信号の時間の調整や駐車場の出入口に警備員を配置するというようなことなど、協議を進めているところです。

ここ最近では、週末は多少駐車場が満車になるということもありますが、平日はスムーズに出入りができているということを確認しておりますので、引き続き、協議をしながら、その様子を探っていきたいと思います。

特に、駅利用者のマイカーの乗降場を利用される方にご迷惑をおかけしてはいけないと認識しておりますので、しっかりと取り組んでまいりたいと思っています。

以上であります。

=====

記者

来週 18 日から学校再編に関する地域説明会が始まると思いますが、再編に向けた第一歩となる一方で協議が難航する地域もあることが見込まれます。

市長として、説明会に向けてどのように議論が深まればいいとお考えか、お聞かせください。

市長

何回かお答えしているかもしれませんが、やはり小学校や中学校、特に小学校というのは、その地域の住民にとっては心の拠り所であり、非常に大事なものと私も認識しております。

P T A の活動や地域の活動も住民の皆さんと（一緒に）ずっとやってきました。消防団にも長い間在籍していたわけです。あるいは体育協会なんかもそうですが、やはり小学校を中心に活動したり、物事を考えていくということは、富山県民、富山市民、そして、多くの日本の国の中にあることではないかと思えます。そういう面からいっても、小学校と地域というのは切り離せない、今ほど申したとおりであります。

しかし、学校再編の議論というのは、何回も申し上げているとおり、児童生徒にとってベストな教育環境、より良い教育環境を提案していく、提供していくということが大事ですので、そこは教育委員会でしっかり議論しながら、私も学校の設置者でありますので、しっかりと議論が進むように、丁寧な説明をして、また住民の皆さんの思いを丁寧に聞き取るという姿勢で臨んでいただきたいと思います。

もう一つ大事なことは、小学校や中学校は、避難所施設、災害時の避難所に指定されていたりします。また、小学校であれば住民運動会の開催にそのグラウンドを使ったり、学習発表会に地域の住民を招いたり、（地域で）一体感を持って活動しています。このような行事ごとや避難施設（としての役割）、放課後の学校開放などについては、議論の中で必ず出ると思いますので、住民の方がそういう思いをお持ちであれば、市長部局としても丁

寧に答えてまいりたいと思っています。

ただ、大事なのはやはり 10 年 20 年後を見据えて、児童生徒にどういう教育環境を提供していけるかということが一番大事だと思っていますので、そういう（10 年 20 年後を見据えた）議論になればと最終的には思っています。

=====

記者

富山県が G7 に合わせて教育関係閣僚会合の誘致を目指すという話があります。知事は、その会場は富山市内を想定しており、連携して進めたいという姿勢を示されていますが、富山市としてどのようなスタンスで取り組んで行きたいか、また、現段階で知事とのやりとりがあれば、お聞かせください。

市長

数年前（2016 年）に G7 富山環境大臣会合がありましたが、やはり富山県が誘致して富山市が協力して開催したということがありました。

そういう面で言うと、富山県にも富山市にも、G7 教育関係閣僚会合を誘致する能力（があり）、設備なども含めて、しっかりと対応できると思っています。

知事はウェルビーイングということを標榜されており、ウェルビーイングを目指すには、やはり教育がその根底にあると、人づくりが大事だということで、ぜひ、G7 教育関係閣僚会合を誘致したいということを伺っています。私も「幸せ日本一とやま」を大きなテーマにしておりますし、その基本にあるのは人づくり、教育でありますので、富山県が申請されたら、富山市も歩調を合わせて、誘致活動も含めて協力していきたいと思っています。

記者

3 回目のコロナワクチン接種の件でお伺いします。今日いただいた資料で 46.5%の方が 3 回目（接種）を終えられたということですが、この件数をどのようにご覧になっていらっしゃるのでしょうか。

また、今後の接種券の発送のスケジュールが出ていますが、全体として 3 回目接種を終えるのはいつ頃になる見通しなのか教えてください。

市長

まず 3 回目の接種がすべて終わるのは、今のペースでいくと 9 月ぐらいと考えております。今の時点で全体（の 3 回目接種率）が 46.5%です。その中身は、65 歳以上の方が 80%を超えているということですので、高齢者に関しては（3 回目接種が）進んだと思っています。

問題は、現役世代と若者、そして児童の部分だと思っています。その部分は、明日の予約が空いているぐらいですから、決して進んではないというように私も捉えています。実際、65 歳未満になると数字（3 回目接種率）が少し落ち込んでくると思います。そこが問題なんですね。

一方、今の（感染が広がっている）オミクロン株に対する考え方は、例えば児童生徒（のワクチン接種）であれば、保護者の意向というものが大きくありますので、その意向に左右されますし、現役世代の方々の接種であれば、そんなに重症化しないということも、現実としてあります。そういう面から見ると、なかなか接種が進まないのではないかと危惧もしております。

ただ、我々行政としては、やはり抗体が落ちていくということも事実（として）ありますので、3 回目を接種したことによって（抗体が）アップしていくということですので、しっかりと 3 回目接種をしていただくように推奨していきたいと思います。

再度、最初の質問になりますが、高齢者の方は高い接種率で非常に（接種が）進んでいるなという感想であり、現役世代、そして子供たちをとっ

て見ると、まだまだ、これから進めていかなければならないと認識しております。

3回目接種の正確な数字は、60代は77.4%、70代が86.5%、80代が91.4%、90代が88.9%、100歳代が92.4%ということでありますので、先ほど65歳以上と言いましたが、60代以上は高いわけであります。

50代が57.6%。ここからは予約券の発送の関係もありますが、40代が28.6%、30代が23.5%、20代が21.9%、10代が2.6%です。

ぜひ、接種券が届き次第、申し込んでいただきたいと考えています。

=====

記者

マルルート
MAROOT周辺の渋滞について、ある程度、平日の渋滞解消は見られるということですが、公共交通を利用する人が増えたなど、解消してきている理由について、分析結果等があれば教えてください。

市長

公共交通の利用者が爆発的に増えたと言えはすごく嬉しいのですが、まだ分析は行っていません。今後、お答えできるように分析していきたいと思えます。

=====

記者

日曜日（4/17）投開票の黒部市長選についてですが、一部の首長さんは特定の候補の方を支援する動きもあるようです。新人同士の戦いですが、藤井市長はどのように見ておられるかお聞かせください。

市長

大変な激戦になっていると伺っていますので、立候補された方々、そして陣営の方々には、各々頑張ってもらいたいと思っています。お互いに優秀な方々ですので、候補者の方々の健闘をお祈りしています。

※発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課